



4 国有林野の活用

4 国有林野の活用

(1) 国有林野の活用の適切な推進

国有林野の貸付け

農林業をはじめとする地域産業の振興、住民の福祉の向上等を目的に、国有林野の貸付けを行っています。

平成12年度末現在で、約8万haの貸付けを行っています。その内訳は、約2割が地域産業の振興を目的とした農地や採草放牧地、約4割が道路敷、電気事業や電気通信事業の用地、ダム用地や堰堤敷等の公用、公共用、公益事業用の施設用地となっています。

表 - 23 国有林野の用途別貸付け状況

(単位：ha)

区 分	平成12年度	(参)平成11年度
道路敷	15,555 (20)	15,394 (19)
農耕・採草放牧地	15,539 (20)	15,975 (20)
電気・電気通信事業用地	14,639 (18)	14,332 (18)
ダム・堰堤敷	4,160 (5)	4,119 (5)
鉱業用地	1,154 (1)	1,187 (1)
森林空間総合利用事業用地	9,427 (12)	9,530 (12)
その他	18,763 (24)	18,728 (24)
合 計	79,237 (100)	79,265 (100)

- 注：1 貸付け面積は、各年度期末現在の数値である。
 2 平成12年度の実績は、見込み値である。
 3 ()は、合計に占める用途別の比率(%)である。

事例 風力発電のための国有林野の貸付け

福島県天栄村では、村営スキー場への電力供給を目的として、福島森林管理署白河支署二俣国有林内に、750kwの風力発電施設4基を設置して、発電を行っています。発電施設は平成12年12月に稼働し始め、現在、余剰電力は東北電力へ販売しています。

(関東森林管理局福島森林管理署白河支署)



場 所：福島県岩瀬郡天栄村 ^{ふたまた}二俣国有林 福島森林管理署白河支署
 説 明：写真は、設置された風力発電施設(左)と、電力供給を予定している村営スキー場(右)です。

林野・土地の売払い

林野（森林、苗畑、貯木場等）については、公益的機能の発揮や木材の安定的な生産・供給等に十分配慮しつつ、地域産業の振興や地域住民の福祉の向上等に必要な場合に売払いを進めることにしています。平成12年度には、「市町村の森」^{注）}等の森林公園やダム等の用地として、1,894ha、161億円を売り払いました。

土地（庁舎、宿舎等の敷地）については、事業の遂行に不可欠なものを除き、可能な限り売り払うこととしています。平成12年度には、東京都内の厚生施設跡地を含め、15ha、55億円を売り払いました。

その結果、平成12年度の林野・土地の売払い収入は216億円となりました。

表 - 24 林野・土地の売払い状況 (単位：ha、億円)

区 分	平成12年度		(参考)平成11年度	
	面積	金額	面積	金額
林 野	1,894	161	1,817	123
土 地	15	55	15	205
計	1,909	216	1,832	328

表 - 25 林野の用途別売払い状況 (単位：ha)

区 分	平成12年度	(参考)平成11年度
所管換・所属替	673 (36)	597 (33)
公用・公共事業用	992 (52)	1,048 (58)
産業振興用	113 (6)	87 (5)
その他	116 (6)	84 (5)
合 計	1,894 (100)	1,817 (100)

注：1 ()は、合計に占める用途別の比率(%)である。

2 「所管換」とは他省庁への売払い、「所属替」とは農林水産省内の他部局への売払のことである。

事例 「益子町高館山森林公園」の整備への協力

益子町では、これまで高館山の国有林を公園敷として借り受け、整備を進めてきました。茨城森林管理署では、「市町村の森」制度を活用してこの国有林を購入したいという益子町の要請を受けて、平成12年度に約17haの森林を売り払いました。現在、益子町では、そこで「益子町高館山森林公園」の整備を進めています。

(関東森林管理局東京分局茨城森林管理署)



場 所：栃木県芳賀郡益子町 ^{たかだて}高 館国有林 茨城森林管理署管内
説 明：写真は、多目的広場（左上）と歩道（右下）です。

(2) 公衆の保健のための活用の推進

国民の皆さんに森林レクリエーションの場を広く提供するため、山岳、渓谷、湖沼等と一体となった美しい森林や野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」として選定し、森林や施設の整備を進めるとともに、利用者に対する情報提供を行っています。平成12年度には、延べ約1億6千万人の方々に利用していただきました。

また、家族や友人グループが森林の中で自由に遊び、学び、安らげるように小区画の森林を貸し付ける「ファミリー・フォレスト・ガーデン」を整備し、国民の皆さんに提供しています。

表 - 26 レクリエーションの森の設定状況及び利用者数

レクリエーションの森の種類	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)	代表地
自然休養林	91	104	27	たかおさん みのお 高尾山、箕面
自然観察教育林	172	35	19	はこね かるいざわ 箱根、軽井沢
風景林	571	187	48	あらしやま みやじま 嵐山、宮島
森林スポーツ林	73	10	2	はっこうだ おおぎのせん 八甲田、扇ノ仙
野外スポーツ地域	237	53	40	ざおう こかせ 蔵王、五ヶ瀬
風致探勝林	119	21	21	こまがたけ かみこうち 駒ヶ岳、上高地
合計	1,263	411	157	

注：1 箇所数及び面積は平成13年4月1日現在の数値である。

2 利用者数は平成12年度の数値である。

3 計数の不一致は四捨五入による。

事例 カヤノ平自然休養林のファミリー・フォレスト・ガーデン

北信森林管理署では、カヤノ平自然休養林内の、水道やトイレ、駐車場が整備されたキャンプ場の近くに、ファミリー・フォレスト・ガーデン（FFG）を設定しました。これは、全国初の天然林のFFGになります。マスコミ等を通じて利用者を公募したところ、18区の募集に対して、30組の応募がありました。

（中部森林管理局北信森林管理署）



場所：長野県下高井郡木島平村 往郷山国有林
北信森林管理署管内

説明：写真は、平成12年8月に開催された開園式における利用者講習会の様子です。